

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年08月16日

計画の名称	健やかでいきいきとした快適な暮らしの実現に向けた下水道事業												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	高知市												
計画の目標	本市の下水道は浸水対策を中心に進めてきたこともあり、下水道処理人口普及率は58.1% (H27年度末)と全国平均77.6% (H26年度末)と比べて低くなっている。 このような状況の中、市民の生活環境の向上に向けて、下水道とその他の汚水処理施設との適切な役割分担による汚水処理10年概成を目指し、公共下水道整備を進めていく。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A + B + C + D)	2,225	A	2,225	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H27末	中間目標値 H30末	最終目標値 R2末
1	本市の下水道処理人口普及率を58.1% (H27末) から63.7% (R2末) に増加。 下水道処理人口普及率 下水道供用告示済区域に住居している人口 / 住民基本台帳人口	58%	62%	64%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高知市	直接	高知市	管渠(汚水)	新設	下知潮江処理分区(その1) 汚水幹線管渠等(未普及解消)	汚水管 150~1000mm	高知市						885		-
	A07-002	下水道	一般	高知市	直接	高知市	管渠(汚水)	新設	下知潮江処理分区(その2) 汚水幹線管渠等(未普及解消)	汚水管 150~1000mm	高知市						872		-
	A07-003	下水道	一般	高知市	直接	高知市	管渠(汚水)	新設	浦戸湾東部処理分区内管渠(未普及解消)	汚水管 150	高知市						15		-
	A07-004	下水道	一般	高知市	直接	高知市	管渠(汚水)	新設	瀬戸処理区汚水幹線管渠等(未普及解消)	汚水管 150~350mm	高知市						253		-
	A07-005	下水道	一般	高知市	直接	高知市	管渠(汚水)	新設	施設計画の見直し	施設計画の見直し	高知市						191		-
	A07-006	下水道	一般	高知市	直接	高知市	終末処理場	新設	水再生センター(施設整備)	計装設備等	高知市						9		-

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 高知市内部で事後評価を実施。	事後評価の実施時期 令和4年8月
	公表の方法 高知市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本市の公共下水道の整備が進み、下水道処理人口普及率が58.1%（H27年度末）から64.9%（R2年度末）に進捗した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
下水道処理人口普及率の向上に向けて、引き続き「健やかでいきいきとした快適なくらしの実現に向けた下水道事業【第2期】」で未普及対策を実施する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	64%
	最終実績値	64%
		公共下水道の整備により、処理区域内人口（分子）が順調に増加する一方で、行政人口（分母）が当初の推計より減少したことから、普及率の実績値が目標値を上回っている。